

市民協働推進モデル事業相互評価表

事業名	公民館への太陽光発電の設置と環境学習による持続可能な社会の推進事業		実施団体名	特定非営利活動法人おかやまエネルギーの未来を考える会	事業総額 (決算額)	1,198,172円
			担当課名	中央公民館 環境保全課		
NO.	評価項目		自己採点 (各項目20点満点)	評価の理由		
1	目的・課題 目標設定	当初に設定した目標を達成することができましたか？	18/20	3館に太陽光発電所を設置予定で37館すべてを予備調査しました。その中で屋根の向きや傾斜の状況がよくても凶面を見た時、材質・強度不足などで不適合の建物が多くありました。そのような事例の中には今回の事業に意欲を持たれていた公民館が複数あり、実施できなかったのは残念なことでした。2館では設置することができ、受講生有志からの寄付もいただくことができました。設置の時期が様々な事情で遅くなりましたが、合わせて約40kWの発電所となりました。公民館でも日々の発電量に関心を持ってくださるなど、地域の発電所として見守っていただいていることをうれしく思います。環境学習面では連続講座を実施できたことで温暖化問題やエネルギーについていろんな角度から学習を深めてもらうことができ、地域でどんな取り組みができるかを考えてもらうきっかけとなりました。		
2	発展性	さらなる発展や波及につながる成果を得られましたか？	18/20	両公民館では今回のようなテーマを連続してじっくり考える講座は初めてとのことで、まず公民館館長・職員さんがエネルギーを考えることの重要性を認識されたのは今後につながる一番大きな成果のように思います。また、参加者も地域で何ができるか、次の段階を考えようという人たちが現れ、次年度も引き続き講座を開いていくことになっていますので、地域の意識がさらに変わっていくものと期待しています。設置した発電所への関心も高く、自然エネルギーの有用性をより実感してもらえています。		
3	実現性	連絡調整、経理、報告など事業に関する事務は適正に行われましたか？	18/20	公民館とは密に連絡を取り相談できました。公民館職員さんの高いスキルを提供していただき、参加者の思いを引き出すワークショップ形式にするなど、当法人だけではできない充実した講座にできたと思います。発電所設置においても、点灯式を主導していただきました。運営全般をスムーズに行うことができました。		
4	成果	利用者、参加者をはじめ、市民の満足度向上につながりましたか？	16/20	座学や実際に先進的な取り組みを進める現地に行って学ぶことで、参加者のみなさんが深刻な状況を迎える未来に対して新たな可能性を知るとともに自分の地域では何ができるかを真剣に考え始めてくださったのは大きな成果だと思います。ただ参加者の年齢層が高く、影響を受けざるを得ない世代の人たちと直接、交流することが難しかったのは今後の課題として残りました。(岡輝公民館では世代を超えてのワークショップを別途企画されました。今後の参考になるとと思います)		
5	協働効果	相互が役割と責任を担い、協働による相乗効果を生むことができましたか？	20/20	地域を熟知しておられる公民館職員さんのご尽力によって講座は和やかな雰囲気の中で行うことができましたし、職員さんの高いスキルを活かしたワークショップによってより参加者の意見・疑問が出し合える講座を行うことができました。協働することで当法人単独より何倍も中身の濃い事業ができ、よかったです。		
6	総合評価(実施団体より)		地球温暖化を防止し、真に持続可能な地域づくりを進めていくためには岡山市域で行政と市民が連携して自然エネルギーを最大限導入した低炭素社会に転換することが必要との趣旨で市民共同発電所設置と連続講座を企画しました。中央公民館、環境保全課にサポートしていただく中で岡輝公民館と岡西公民館が受けてくださり、館長・職員さんとしっかり連携し、お互いのスキルを出し合いながら、充実した講座を行うことができました。講座は2017年度も企画されるようですし、既設の公民館への発電所増設は難しいかもしれませんが、コミュニティハウスへの設置なども考えられます。知恵を出し合い、地域の人たちが主体となって低炭素社会に取り組んでいくことのできるしくみ・体制づくりを進めていただければと思います。当法人は今後も支援していきたいと考えています。			
	総合評価(担当課より)		認定NPO法人による太陽光発電設備の設置と専門的な環境教育の実施、公民館職員の地元の方たちとの人脈により、一方通行の環境教育ではなく、認定NPO法人、公民館と地域住民も協働しての参加型の環境教育を実施することができ、新たな切り口で市民に地球温暖化問題を理解し行動に移してもらう機会を提供できたと思います。また、公民館においては、新しい参加者が増え、エネルギー問題を含めた地球温暖化問題に関心がある人が多いことも分かり、今後の広がりを強く感じることができました。公民館で環境教育を実施することで、各公民館がそれぞれ取り組んでいる健康、国際理解、生物多様性等の地球温暖化対策との関連が深い学びと関連付けを強化することにより、ESD活動の推進を図ることも目標として掲げているので、その目標に向けた一歩も踏み出すことができたと思います。			
	総合評価(ESD・市民協働推進センター)		当初はパネル設置のみが目的となることが懸念されていましたが、岡輝公民館と岡西公民館の積極的な協力を引き出したことによって地域住民への普及・啓発や参加者の学習効果を最大限に高められたのではないかと思います。また、提案団体の経験とネットワークが活かされた専門性の高いプログラムと担当課による実務面(契約に関すること、工事に関することなど)のサポートはいずれも本事業には欠かせない要素であり、協働の意義もおおいに感じられました。残念な点としては、岡輝・岡西学区の住民による学び・行動の継続的な支援と他の施設等へ波及させるための体制・施策が整備されていないことであり、提案団体と担当課とともに考えなければならない宿題となっています。			